



2020年8月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH 東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が前年同月比で6ヵ月連続減、積込量は21ヵ月連続減、取卸量は6ヵ月連続減

概要

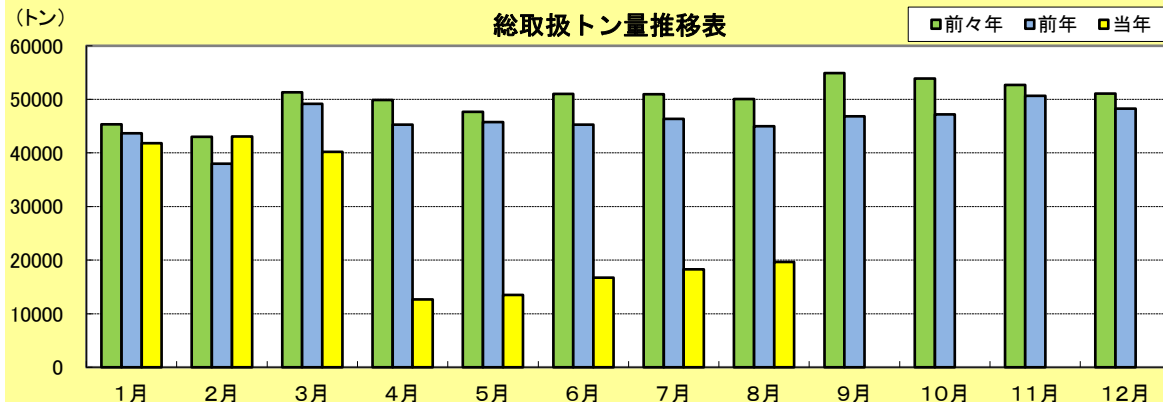
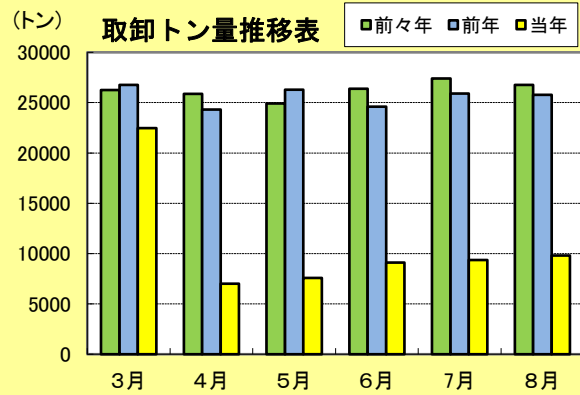
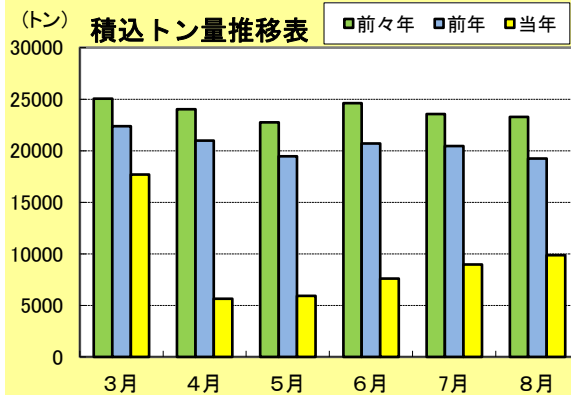
2020年8月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 19,658トン(前年同月比 56.3%減)

積込量 9,855トン(同 48.8%減)

取卸量 9,803トン(同 62.0%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量が6ヵ月連続、積込量は21ヵ月連続、取卸量は6ヵ月連続でマイナスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 544トン(前年同月比 59.5%減、シェア 12.5%)

その他地域通関 3,795トン(同 55.1%減、同 87.5%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は6ヵ月連続、その他地域通関は20ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,188トン(前年同月比 60.1%減、シェア 47.9%)

その他地域通関 3,471トン(同 39.2%減、同 52.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、6ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 5,516トン(前年同月比 41.6%減)

取卸量 3,144トン(同 74.0%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量、取卸量ともに6ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2020年8月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 655トン(前年同月比 47.8%減、シェア 20.5%)

ドライ貨物 2,533トン(同 62.4%減、同 79.5%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、水産物24.8%(同26.0%減)、果物15.6%(同21.2%減)、野菜等24.3%(同66.8%減)、植物(切花等)23.0%(同47.8%減)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2020年8月			2019年8月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,188	39.9%	100.0%	7,992	96.0%	100.0%
生鮮	655	52.2%	20.5%	1,254	78.6%	15.7%
ドライ	2,533	37.6%	79.5%	6,738	100.2%	84.3%